

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解科
目コード:130015

疾病・障害論ⅡB (各論2) Diseases and Disorders IIB

担当教員	岩佐和夫、栗田昭英(非)、岡島正樹(非)、懸川誠一(非)、山本宜孝(非)、北村祥貴(非)、山口貴久(非)、江嵐充治(非)										
実務経験	医師として臨床経験のある教員と現役医師が講師となり、複数で担当している。										
開講年次	2年次前期		単位数	2		授業形態			講義・演習		
必修・選択	必修		時間数	60							
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)	◎	(3)		(4)	○	(5)		(6)
Keywords	上部・下部消化管疾患、肝胆膵疾患、代謝疾患(糖尿病・脂質異常症等)・内分泌疾患、血液・造血管疾患、アレルギー疾患、膠原病・自己免疫疾患、外科医療、周手術期管理、救急・災害医療、心血管外科、呼吸器外科、消化器・腹部外科、小児外科、乳腺外科										
学習目的・目標	目的: 消化器系疾患、代謝疾患、内分泌疾患、血液・造血管疾患、アレルギー性疾患・膠原病、外科系疾患についての基礎知識を習得することを目的とする。このシリーズでは、外科系疾患を理解する上で必要な解剖の知識を整理し、手術を受ける患者の看護に必要な基礎知識を獲得するため現役医師による講義も含まれます。 目標: 1). 臓器の正常解剖と生理機能を理解する。 2). 代表的な疾患における病態を理解する。 3). 各疾患について、症状、徴候、検査所見、治療、ケアについて理解する。 4). 外科系疾患、手術、麻酔について理解する。 5). 救命救急、集中治療、災害治療、脳死について理解する。										
授業計画・内容	*非常勤講師の都合により講義の順番は入れ替わることがある										
回	内容										
1-2	消化器疾患: 講義、小テストあり										
3-4	肝胆膵疾患: 講義、小テストあり										
5-6	消化器疾患/肝胆膵疾患: グループごとに講義で提示された課題について発表										
7-8	代謝疾患: 講義、小テストあり										
9-10	内分泌疾患: 講義、小テストあり										
11-12	内分泌疾患/代謝疾患: グループごとに講義で提示された課題について発表										
13-14	血液・造血管疾患: 講義、小テストあり										
15-16	アレルギー性疾患・膠原病: 講義、小テストあり										
17-18	血液・造血管疾患/アレルギー性疾患・膠原病: グループごとに講義で提示された課題について発表										
19-20	外科総論: 講義、小テストあり										
21-22	心肺蘇生、集中治療室(ICU)(非常勤)										
23-24	麻酔と術中・術後管理(非常勤)/乳腺外科(非常勤)										
25-26	消化器外科(非常勤)/肝胆膵外科(非常勤): 腹腔鏡の演習あり										
27-28	心血管外科(非常勤)/呼吸器外科(非常勤)										
29-30	小児外科/外傷、熱傷、熱中症・脳死: 講義、小テストあり										
教科書	系統看護学講座別巻「臨床外科看護総論」・「臨床外科看護各論」(医学書院) 「看護のための臨床病態学」(南山堂)										
参考図書等	病気がみえる Vol.1「消化器」、Vol.3「糖尿病・代謝・内分泌」、Vol.5「血液」、Vol.6「免疫・膠原病・感染症」、Vol.9「婦人科・乳腺外科」(メディックメディア) 看護師・看護学生のためのレビューブック(メディックメディア) なるほどなっとく!解剖生理学(南山堂)、なるほどなっとく!病理学(南山堂) カラー図解 人体の正常構造と機能(日本医事新報社):図書館KinoDenから無料でアクセスできます。 看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性(南山堂)										
評価指標	成績判定の対象者:出席2/3以上 成績評価:課題・小テスト4割および定期試験6割の総合点で評価する。 小テストの締め切りはMoodle上に提示する。提出が遅れた場合は復習テストで提出できるが大きく減点する。										
関連科目	疾病・障害論I-IIC、解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学、フィジカルアセスメント、薬理学、看護学の各科目										
教員から学生へのメッセージ	内科的疾患、外科的疾患、急性期の患者の病態を理解し、それぞれにふさわしい看護を提供するために必須の基礎知識を獲得します。急性期の患者の治療は病態を理解した上での判断力が求められます。正確な理解と判断力を身につけるために、講義の前にテキストを読んでおくことが必要となります。さらに、講義で学習し理解したことを人に説明できるようになっているか課題の発表を通して認識し、知識を自分自身のものとしてください。自分や家族が患者になったと仮定して、看護してもらいたいと思うような看護師を目指して学習しましょう。										